

表現運動：リズムダンス

5年「みんなで WAHAHA」

- 日 時 平成27年10月15日（木）14：35～15：20
- 学年・組 第5学年1組（在籍34名）
- 場 所 体育館

1. 学習のねらい

- (1) いろいろなリズムに乗って全身を使って自由に踊ることができるようとする。
(技能)
- (2) リズムダンスに進んで取り組み、友達と励まし合って練習や発表ができるようする。
(態度)
- (3) 楽しく踊るために動きを工夫したり、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れたりすることができるようとする。
(思考・判断)

2. 指導にあたって

(1) 領域から見た運動の特性

リズムダンスは、ロックやサンバなどの曲調のリズムに乗って友達とかかわり合いながら全身で弾んで踊ることが楽しい運動である。児童が豊かなかかわり合いの中で、リズムに触発されながら即興的に自由に踊ることができるよう、リズムの特徴をつかませることが必要である。さらに、変化の付け方を工夫したり、友達のよい動きを見付け、自分の動きに取り入れたりすることで、より楽しさを広げることができる運動でもある。

(2) 児童の実態

運動会の団体演技では、練習の時から楽しく活動している姿があった。指導者が踊りを提示したときも、ワクワクした様子で見ていた。また、入退場の仕方やポーズを自分で決める際には、友達と相談しながら楽しく活動していた。さらに、学級ごとに見せ合いを行い、感想を伝える場面では、「○○さんが大きく踊っていた」「○○さんが笑顔で踊っていた」などよい動きについても触れることができていた。

単元前にアンケートを行った（別紙参照）。ダンスについて肯定的に考えている児童が多い中、質問7では「どちらかというと思わない」と答えた児童が5人いる。さらに、質問8でも4人の児童が苦手意識をもっている。指導者が動きを紹介する場面を多く設定することで、より楽しく踊ることができるよう工夫を図っていく必要がある。

4 はい 3 どちらかというと思う 2 どちらかというと思わない 1 いいえ

質問		4	3	2	1
1	体育では、みんなが楽しく勉強できます	26	8	0	0
2	体育では体を動かすと、とても気持ちがいいです	25	7	2	0
3	体育をしているとき、どうしたら運動がうまくできるか考えながら学習しています	10	18	5	1
4	体育では、先生が運動のやり方やコツを教えてくれます	27	6	1	0
5	体育では、友達が運動のやり方やコツを教えてくれます	18	14	2	0
6	これから行う運動のやり方がわかります	12	17	5	0
7	これから行う運動ができる方だと思います	11	19	4	0

(3) 学習指導と評価の在り方

単元の「はじめ」の段階では、学習のねらいや方法を知り、学習の見通しをもたせるためにオリエンテーションを行う。指導者がいろいろな曲調のリズムの音楽をリードして踊り、児童がそれをまねて踊る「メドレーダンス」を行う。「メドレーダンス」を取り入れることで、児童が自然とリズムに乗って踊ったり、いろいろな動きのイメージをもったりすることができる。さらに、仲間とかかわり合って踊る楽しさを味わわせることができる。この「メドレーダンス」は単元を通して毎時間行う。

「なか」の段階では、2～3時間目を「なか①」、4～5時間目を「なか②」の2つに分ける。「なか①」は、リズムに乗って全身で弾んで踊る楽しさや動きの素地を養うことをねらいとする。「なか②」では、「なか①」で身に付けた動きや気に入った動きを繋いだり繰り返したりしながら即興的に踊ることをねらいとする。

「なか①」の段階では、身に付けさせたい動きを習得できるように、指導者とともにリズムの特徴をとらえながら踊る「ダンスタイム」を行う。2時間目では、「リズムに乗って踊る」、3時間目では、「全身を使って踊る」を身に付けさせるために、指導者がリードしながらみんなと一緒に踊る。次に、身に付けた動きを2人組で向き合って踊る「ミラーダンス」をする。「ミラーダンス」とは、一人が踊っている動きを、もう一人がまねて踊ることである。指導者は、8拍×4回程度に踊る側とまねる側を交代させる。事前に自分がしたい動きを2つ程考えておくように助言することで、即興的に踊ることができるを考える。また、「ミラーダンス」を行うことで、友達のよい動きを自然と見付けやすく、また自分の踊りに取り入れやすい。さらに、指導者がよい動きをしている児童を全体に紹介することでよい動きについて気付き、広めることができる。また、その動きを全体で踊ることで、紹介された児童は自分の踊りに自信が付き、周りの児童もよい動きを身に付けることができる機会となる。その後、4～5人グループで身に付けた動きを組み合わせて即興的に踊る「グループダンス」に取り組む。グループで考えることで、仲間と一緒に踊る楽しさを十分に味わわせることができると考える。

最後に、学習のまとめをする。ここでは、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよい所を発表する。また、心と体をクールダウンさせるために、整理運動をする。

「なか②」の段階では、4～5人のグループで1分程度に編集した曲に合わせて即興的に踊ることを中心に学習を進めていく。「なか①」と同様に「メドレーダンス」を行うが、即興的に踊ることを目的とする。今までの学習で身に付けた動きや気に入った動きを繋げたり繰り返したりして、「続けて踊ること」ができるなどを大切にする。また、「友達とかかわり合って踊ること」を身に付けさせたい。ここでは、1分程度に編集した曲をスピーカーで流し続けておく。グループで踊ったり、互いに見合ったりして動きを考察させていくようにする。また、自分たちが工夫して踊ることができているのかを確認するために、ICT機器で撮影して動きを確認してもよいことを助言する。ただし、撮影した後は、動きを確認して課題を見付け、再度踊るようにする。

次に、できた動きをペアグループと見せ合う。この時に、自分たちの動きの特徴や持ち味、工夫したことなどを相手に伝えてから踊るようにする。見るグループは、一人がICT機器で撮影しながら見る。また、踊った後は、相手グループは踊ったグループのよい動きを感じたことなどを発表する。発表する際に、動きを交えて伝えることで、説得力が増すことを助言しておく。互いに見せ合った後、ICT機器で自分たちの動きを確認し、自分たちのよかったですや次の課題を見付けるようにする。

最後に、「なか①」と同様に学習のまとめを行う。

「まとめ」の段階では、今まで学習したことを生かして「ダンス発表会」を楽しむ。それぞれのグループで考えたダンスを見せ合ったり、友達の感想を聞いたりすることで、成就感を味わわせたい。

毎時間の評価では、学習時の児童の様子やワークシートを中心に行う。まず、指導者による児童の動きの観察をしっかりと行う。児童に身に付けさせたい動きの習得や友達と楽しく活動しているなどを観察する。次に、児童の学習カードから「自分の課題」「挑戦したこと」「友達のよい動きから感じたこと」などの振り返りを確認する。また、心情調査を行うことで、次時での児童一人一人への声かけや動きの提示の仕方を確認する参考資料にしたい。

(3) リズムダンスの観点別評価規準

技 能	態 度	思考・判断
<ul style="list-style-type: none"> リズムに乗って全身で弾んで踊ったり、友達とかかわり合ったりして楽しく踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 踊る楽しさや喜びに触れ、運動に進んで楽しく取り組もうとしている。 友達と互いのよさを認め合ったり励まし合ったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材やリズムの特徴や動きのポイントを知り、楽しく踊るための自分の課題を見付けたり、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れたりしている。

(4) みんなで WAHAHA の観点別評価規準

技 能	態 度	思考・判断
<ul style="list-style-type: none"> リズムの特徴をとらえて、全身で弾んで即興的に踊ることができる。 動きにアクセントやリズムの変化を付けて、続けて踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムダンスに進んで取り組もうとしている。 友達と互いのよさや違いを認め合い、励まし合って練習や発表をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムの特徴やよい動きについて知り、友達のよい動きを見付けたり、自分の動きを工夫したりしている。

3. 学習指導・評価計画

過程	はじめ	なか①	なか②	まとめ		
学習のねらいと活動	1	2	3 (本時)	4	5	6
	学習のねらいや進め方を知り、単元全体の見通しをもつ。 1. 学習のねらいや進め方を知り、見通しを持つ。 2. 学習のカードの使い方を知り、単元全体の流れを知る。 3. ダンスタイムをする。 ・指導者の動きを児童がまねて踊る。 ●サンバ ●ロック など 4. ICT 機器の使い方を知る。 5. 学習のまとめをする。	リズムの特徴をとらえて、友達とかかわり合いながら踊る。 1. ダンスタイムをする。 2. 学習のめあてや学習の進め方を確認する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○リズムに乗って踊る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○全身を使って踊る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #ccc; color: #333;">指導者が リードする</div> </div> 3. 指導者がリードしながら、リズムの特徴をとらえ、いくつかの動きと一緒に踊ってみる。 4. ミラーダンスをする。 5. グループダンスをする。 6. 学習のまとめをする。	リズムの特徴をとらえて、グループで即興的に踊る。 1. ダンスタイムをする。 2. 学習のめあてや学習の進め方を確認する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○友達とかかわり合って踊る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○続けて踊る</div> </div> 3. ミラーダンスをする。 4. グループダンスをする。 5. ペアグループで見せ合いをする。 6. 学習のまとめをする。	今までの学習を生かして、発表会をする。 1. ダンスタイムをする。 2. 学習のめあてや学習の進め方を確認する。 3. 発表会をする。【ふかめる】 4. 友達やグループのよかつた所を発表する。 5. 学習のまとめをする。		
指導者の働きかけ	○ いろいろなリズムに乗って踊ることを伝え、学習への意欲をもてるようとする。 ○ どう動いたらよいかわからない場合は、指導者や友達の動きをまねしてよいことを伝える。 ○ 恥ずかしがらずに思いきり体を動かすことの大切さを伝える。 ○ ダンスタイムでは、曲や動きを紹介しながら指導する。	○ ダンスタイムでは、指導者が進んで踊り、児童の心と体をほぐすようにする。 ○ 児童に身に付けさせたい動きや基本的な動きをリズムに乗って踊りながら、児童へ伝えていく。 ○ ミラーダンスをする前に、自分がしたい動きをいくつか考えるように助言する。また、苦手な児童には、指導者や友達の動きをまねて踊ったり、手拍子などの簡単な動きをしたりしてもよいことを伝える。 ○ 指導者は苦手な児童と一緒に踊るように心がけながら、全体の動きを確認する。 ○ よい動きをしている児童を紹介し、よい所を説明したり、児童に見付けさせたりする。また、全体で同じ動きをして、よい動きについて全体で共有する。 ○ グループダンスでは、自分たちが気に入った動きを繋げて踊るように助言する。	○ ダンスタイムでは、今までの学習を生かして自由に踊るように伝える。 ○ グループダンスでは、「はじめとおわり」を意識させるためにポーズを決めるように助言する。また、自分たちが気に入った動きを組み合わせて、続けて踊ることを大切にする。 ○ 自分たちの動きを確認するために ICT 機器を使って撮影してもよいことを伝える。ただし、撮影後は必ず映像を確認するようになる。 ○ ペアグループに見せ合う時は、事前に気に入った動きや工夫した動きなどを相手グループに説明するようする。 ○ 見る側は、ICT 危機で撮影しながら見るようする。 ○ 見た感想を伝える時は、動きを交えながら伝えるとよいことを助言する。 ○ 感想やアドバイスを振り返りながら、ICT 機器で自分たちの動きを確認し、次時の課題をもつようする。	○ 今までに学習したことを思い出して踊るように助言する。 ○ 友達のよい所を見付けることができるよう助言する。 ○ 自分やグループの持ち味を生かすように助言する。		
具体的な評価規準とその一例	技能 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ リズムの特徴をとらえて、全身を使って踊ることができる。</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 動きを工夫して、続けて踊ることができる。</div>			
	態度 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 学習のねらいや進め方を知り、リズムダンスに進んで取り組もうとしている。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 友達と楽しくかかわり合いながら踊ろうとしている。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 友達と励まし合って練習や発表をしようとしている。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 互いのよさや違いを認め合い、楽しく踊ろうとしている。</div>		
	思考・判断 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ リズムの特徴やよい動きについて知り、友達のよい動きを見付けている。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○ 自分たちの課題を見付けたり、動きを工夫したりしている。</div>			

4. 本時の学習 (3 / 6)

(1) 目標

- ◎リズムの特徴をとらえて、全身を使って踊ることができるようになる。 (技能)
- 友達と楽しくかかわり合いながら踊ろうとすることができるようになる。 (態度)
- 友達のよい動きを自分の踊りに取り入れることができるようになる。 (思考・判断)

(2) 展開

学習活動	指導者の働きかけ	評価
1. メドレーダンスをする。 ・ストレッチ ・ロックやサンバなど	○指導者が進んで踊り、児童の心と体をほぐすようする。	
2. 学習のめあてや学習の進め方を確認する。 ・全身を使って踊る ・大きく踊る	○身に付けさせたい動きについて説明する。 「おへそを動かして、踊ること」 「手を上下左右に動かして大きく踊ること」	
3. ダンスタイムをする。 ・膝を使って踊る ・手の動かし方 など	○身に付けさせたい動きを指導者が言葉で説明しながら一緒に踊るようする。	リズムの特徴をとらえて、全身を使って踊ることができるようになる。(技)
4. ミラーダンスをする。	○自分がしたい動きをいくつか考えるように助言する。 ○動きが滯りがちな児童の所で一緒に踊りながら、全体の様子を観察する。 ○よい動きをしているペアを全体に紹介し、よい動きについて共有させる。	○友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。(思)
5. グループダンスをする。	○ミラーダンスで踊った動きを用いて、グループで踊るようする。 ○止まらずに続けて踊るよう助言する。	○友達と楽しくかかわり合いながら踊ろうとしている。(態)
6. 学習のまとめをする。	○楽しかったことや友達のよかつた所などを発表する。	

みんなでWAHAHA

名前（ ）

共通の課題				
自分の課題				

4 はい 3 どちらかというと思う 2 どちらかというと思わない 1 いいえ

楽しく活動できた	4	3	2	1
新しい動きを見つけることができた	4	3	2	1
リズムに乗っておどることができた	4	3	2	1
思いきり体を動かすことができた	4	3	2	1
友達となかよく活動できた	4	3	2	1